

兵高教組
調査情報
 2012年10月22日 16号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
 TEL : 078-341-6745
 FAX : 078-351-3185
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

**県教委の官僚的体質
 時代の変化に対応できず**

**地域の未来への希望をうばう
 村岡高校学級減 (1学年1学級に)**

県教委は10月20日、「公立高等学校生徒募集計画」を発表しました。地域住民の2148筆もの請願署名に応じて香美町議会が提出した「村岡高校・香住高校の普通科1学年2学級を維持することを求める意見書」に耳を貸さず、従来の基準を機械的に適用して南但馬学区の村岡高校を1学年2学級から1学級に減らそうとしています。

構造改革による地域社会の衰退は深刻

構造改革によって貧困と格差が拡大し、地域社会の衰退がきわめて深刻な事態となっています。しかし、政府、県、そして県教委も自ら引き起こしたこの大きな社会的変化と危機に対応できずに従来型の政策に固執し、国民の不満と閉塞感は強まるばかりです。

大胆な政策転換抜きに現在の困難は打開できません。高校における過疎地からの30人以下学級実現は待ったなしの課題です。地域の危機的状況を全く理解せず、従来の政策の踏襲しかできない県教委の官僚的体質は、今や地域社会の未来を切りひらくうえでの大きな障害物となっています。

官僚的体質を改め過疎地から30人学級を
 香美町議会意見書は、「学級定員の弾力的運用(35人以下学級)等を行い、学級数を維持することを求めています。1学年1学級になることは地域に大きな影響を及ぼし、「県政の基調である『地域の元気づくり』に反することと

な」と、地域と連携した教育活動の縮小、学校が地域の活性化のために果たしている役割の喪失の危険性を訴えています。県教委は、地域の声を聞き、定数の基準を機械的に当てはめることはやめ、過疎地から優先的に少人数学級を導入すべきです。

京都や岡山ではすでに政策転換

京都府では、北部地域の生徒数の減少に対し、35人・30人編成の学級をつくって対応しています。岡山県でも、「適正規模」を機械的に適用して高校を壊しすぎた反省から、学級定員を少なくして対応する方針に転換しています。

兵庫は、大企業偏重の無駄遣いをやめ、県財政における教育費の割合が類似県で最低レベル()という汚名を返上し、教育重視の政策に転換すべきです。

(普通会計に占める県民1人あたりの教育費(2010年度決算) : 埼玉 32.2%、神奈川 32.2%、千葉 29.4%、静岡 27.1%、京都 26.6%、愛知 26.3%、広島 25.7%、福岡 25.4%、兵庫21.0%)

来年度募集学級数に関する書記長談話

兵庫県高等学校教職員組合
 書記長 中村 邦男

県教委は10月20日、来年度の公立高等学校生徒募集計画を新聞発表しました。高校進学が当たり前の時代、希望するすべての子どもたちに高校教育を保障していくことが求められています。少子化がすすむ今こそ、少人数学級の実施でゆきとどいた教育を実現するチャンスです。また、できるだけ住んでいる地域で高校教育が受けられるように条件整備することが教育行政に求められています。しかし、今回の生徒募集計画の発表内容は、そのような期待を裏切るものでした。

この間、高教組も10月5日付けで教育長宛緊急要求書を提出し、村岡高校を学級減しないこと、過疎地域から少人数学級を実施していくことの2点に絞り、県教委に要請してきました。香美町議会の意見書が指摘するように、「香美町は都市部と違い公共交通機関が不便であり、これ以上の学級減、学校統廃合がすすむと、遠距離通学を強いられる子どもたちが増え、本人・保護者の精神的・経済的負担は間違いなく増大します」。そして、「過疎化の一層の進行を招きます」。「地域性、通学の利便性を十分に考慮し、過疎地域

における学級定員の弾力的運用(35人以下学級)等を行い、...1学年2学級を維持すること」を要求しています。

この切実で真つ当な意見書に耳を貸さず、機械的に学級減を行った県教委に、怒りを禁じ得ません。地域に高校が存在し、子育て世代が安心してその地域に住み続けることが出来てこそ、その地域も持続可能な地域となります。他府県で実施されているように、過疎化が進む地域から少人数学級を実施していくことが、地域を持続させ、ゆきとどいた教育を保障していくことにもなります。教育行政として、それらを保障していくことが当然の責務ではないでしょうか。そして、それを都市部でも実施し、ゆきとどいた教育の実現を図っていくべきではないでしょうか。

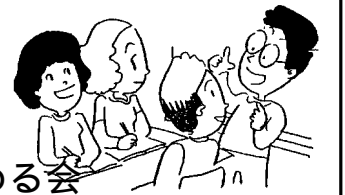
高教組は県教委に対し、村岡高校の募集学級を復元すること、また、過疎化が進む地域から30人以下学級を実施していくことを要求します。そして高教組は、保護者や地域の方々と協力して、その実現に向けて奮闘する決意を述べて、来年度公立高校生徒募集計画発表に対する書記長談話とします。

**高校通学区拡大反対
 「地域の会」全県交流集会**

これからは、がんばりどころ!

県内各地の「『学区拡大』ストップ!アピール署名をすすめる会」による活動報告
 これからのとりくみについて

日時 : 2012年11月11日(日) 13:30 ~ 16:00
 場所 : 神戸市勤労会館 308
 主催 : 「学区拡大」ストップ!アピール署名をすすめる会



保護者、地域の方々に案内して下さい!